

令和8年度第2回愛媛県公立大学法人評価委員会の会議結果

- 1 会議の名称 令和8年度第2回愛媛県公立大学法人評価委員会
- 2 開催日時 令和8年8月18日（火曜日）18時00分から18時45分まで
- 3 開催場所 愛媛県庁第二別館10階1003会議室
- 4 出席者 委員4名、事務局5名、法人6名
- 5 審議事項（議事）
 - 令和7年度業務実績評価書（案）について
 - 中期目標期間終了時見込業務実績評価書（案）について
- 6 審議の内容（全部公開）

公立大学法人愛媛県立医療技術大学の令和7年度業務実績評価書及び中期目標期間終了時見込業務実績評価書を原案のとおり決定した。

【主な質疑等】

- (1) 令和7年度業務実績評価書（案）について
 - 更新推奨年数が経過している引込開閉器の取替を行ったとあるが、このように更新推奨年数を超過している設備や物件は、他にもまだあるのか。
⇒更新推奨年数を超過している設備等は、学内に相当数あると聞いている。これらについては、緊急性や優先順位を勘案し、県と協議を行った上で、計画的な整備を進めている。
 - それらの更新対象案件について、いつ、どのような計画で更新されるのか、具体的なリスト等は作成されているのか。
⇒「長寿命化計画」を策定し、県と共有している。ただし、計画外の急な故障等も発生するため、その都度個別に対応について協議を行っている。
⇒県庁内においても、緊急性等を勘案しながら、優先順位をつけて対応することとしている。
- (2) 中期目標期間終了時見込業務実績評価書（案）について
 - 「外部資金及び自己収入の確保」について、「計画を上回って実施できる見込み」とある。この「計画を上回る」とは何をもってそのように判断したのか。
⇒計画策定時には想定していなかった新たな取組を自発的に実施しているという点で、「上回って実施できる見込み」とした。

(3) その他

○学生確保と県内就職については、今後ますます厳しい状況になることが予測される。小中高校生を対象とした体験イベントを実施した際には、「看護師は賃金が低く、仕事内容がハード」といった声が聞かれた。このように、すでに保護者や子どもたちの間で、給与面などの待遇に関する厳しい認識が浸透していると感じる。県立大学として、今後も質の高い看護人材を育成してほしい。

○「国家試験合格率 100%」という数値目標について、中期計画や年度計画のどの項目と関連しているのかが分かりにくい。国家試験合格率のような明確な数値基準がある指標について、個別の項目と紐づけるべきではないか。

⇒御指摘いただいた点は、次期計画の策定時には反映されるようにし、評価の精度向上に努めたい。

○国家試験合格率について、目標を「100%」と設定することは姿勢として評価できるが、実際には数名の結果によって未達成となり、不十分な結果であるかのような評価になりかねない。報告内容をみると、合格率は全国平均を上回っており、高い教育水準を維持していることから、この 100%という目標は少し極端に感じる。また、教員 1 人あたりの論文発表数等についても、非常に高い目標値が設定されており、前回の委員会でのヒアリング内容を踏まえると、実態との乖離が見られる状況である。

民間企業の経営計画では、近年の急激な環境変化に対応するため、毎年見直しを行いながら実態に即した目標値に修正を行っている。現行の 6 年間固定の計画は、変化の激しい現代社会において実態との乖離を生みやすく、民間感覚から見ると硬直化している印象を受ける。法令上の制約等はあるかもしれないが、計画期間中の柔軟な見直しはできないのか。

⇒法令の規定に則って運営しているため一定の制約はあるが、今回いただいた民間における計画運用のあり方や柔軟な見直しに関する御意見は、貴重な提言として真摯に受け止めたい。

[事務局]

保健福祉部社会福祉医療局

保健福祉課調整管理係

TEL 089-912-2381

FAX 089-921-8004